



彼岸花とアニマル列車(9/16)

おらが湊鐵道応援団報

第102号

勝田 | 阿字ヶ浦

国営ひたち海浜公園 「コキアカーニバル」へは湊線が便利

10月18日(日)までの土日祝日に無料シャトルバスを運行

国営ひたち海浜公園の「コキアカーニバル」が始まりました。海浜鉄道では10月18日(日)までのカーニバル期間中の土日祝日に、阿字ヶ浦駅の湊線発着時間に合わせて、同公園海浜口まで無料のコキアシャトルバスを運行しています。コキアの紅葉が最盛期を迎える10月上旬の休日の周辺道路は大渋滞が予想されます。海浜公園へのお出かけには湊線利用が早く確実です。

シャトルバスの運行時間帯は午前9時から午後5時。コキアやコスモスが植えられたみはらしの丘へは一番近い海浜口に、阿字ヶ浦駅から約10分で到着します。海浜口からは徒歩約10分でみはらしの丘に着きます。

1日フリー切符とセットがおトク 海浜公園のお出かけに、お得で便利な「海浜公園入園券付湊線1日フリー切符」を湊線勝田駅窓口と那珂湊駅で販売しています。料金はおとな1,100円、シルバー(65歳以上)1,000円、中学生900円、小学生500円です。入園券込みなので、海浜公園で券購入と並ぶことなく入場できます。行き帰りの勝田～阿字ヶ浦間の湊線内は乗り降り自由です。



最盛期のみはらしの丘はコキアとコスモスの競演(昨年10月11日)

「駅猫セット」と「絵手紙セット」が好評です

新ポストカード

駅猫セットなど 5枚組…350円
絵手紙セット 12枚組…800円

応援団オリジナルの新しいポストカード32種類の販売を8月から始めました。3版目になる今回のポストカードは、湊線の旧型車を中心にした写真に加えて、人気の駅猫・おさむ、ミニさむの5枚組セットと、湊線絵手紙応援隊のご協力による湊線10駅の駅名標をスケッチした絵手紙のセットなどを用意しました。駅猫セットと絵手紙セットが好評です。価格は5枚組セット4種類が各350円、絵手紙セット12枚組が800円です。残り少なくなった旧作も、引き続き500円(8・9枚組)で販売します。お求めは土日に応援団員が那珂湊駅にいる時は応援団ブースで、平日は那珂湊駅窓口でお願いします。売り上げは海浜鉄道、応援団の活動費に充てられます。ぜひお買い求めください。



駅名標をスケッチした絵手紙のデザインの一部

ローカル鉄道サミットへのご来場ありがとうございました

8月29日に、しあわせプラザホールで第2回ローカル鉄道サミット(ローカル鉄道・地域づくり大学主催)が開かれ、鉄道や自治体関係者のほか、地元自治会の皆さんなど約350名の参加者がありました。サミットでは本間市長と吉田社長のほか、鳥取県・若桜鉄道の山田和明社長、京都丹後鉄道の小高直弘常務らが登壇し、海浜鉄道の延伸計画や各鉄道の現状と課題などが報告されました。また、ローカル鉄道サマースクールも同時開催されました。

秋バージョン 応援券&硬券フリー切符を販売

11月30日まで湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の秋バージョンを1,000円で那珂湊駅窓口で販売しています。フリー切符は横長の「D型硬券」で、応援券には稲刈り直前の霧の中を走る湊線が描かれています。フリー切符は発行日より1年以内の利用が可能です。四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口で呈示された方にはプレゼントを差し上げています。売上げの一部は応援団の活動費に充てられます。



MMM2015 大賞に田中彰さん

那珂湊駅構内や商店街の空き店舗を会場にした現代アートプロジェクト「みなとメディアミュージアム」(MMM)が、8月30日に22日間の会期を終えました。30日には各賞の選考発表が行われ、今年度の大賞を木版画作家の田中彰さんが受賞しました。田中さんは6月から那珂湊に滞在し、町の風景や店先の小物など72点の作品を描いたほか、那珂湊駅ホームに移築したふるさと懐古館で使われたケヤキの柱に作品を彫り込む作業を会期終了後も続けています。

応援団報100号記念 読者プレゼント! ご応募ありがとうございました

応援団報の創刊100号を記念して実施した「読者プレゼント」にはたくさんのご応募ありがとうございました。抽選の結果、【ひたちなか海浜鉄道賞】のアクアワールド大洗入場券+応援券&硬券1日フリー切符には阿字ヶ浦町・黒澤様、【おらが湊鐵道応援団賞】の新ポストカード32枚組フルセットには南神敷台・木内様ほか各賞の当選者が決まりました。おめでとうございます。9月下旬までに賞品の発送を行いますので、楽しみにしてください。



各駅の清掃・環境整備 いつもありがとうございます

駅名	10月4日(日)	11月1日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	七丁目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅清掃は第1日曜日、朝8:30~8:50。中根駅は朝7:30~実施しています。

野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催

日時 10月4日(日) 午前9時~11時頃まで
那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。



湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」4,350名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
 - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
 - 【応援団関係】
 - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)
- ※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

“ひたちなか海浜鉄道 スリーナイン”への想い

シアターキューブリック 代表理事・脚本・演出 緑川 憲仁 さん

ひたちなか海浜鉄道での演劇公演実現に向けて、那珂湊を初めて訪れたのが2011年7月。東日本大震災の甚大な被害で、当時、湊線は平磯止まりでした。

草の伸びた線路には仮の車止めが設置され、列車が走らなくなった線路の寂しさが僕の心に沁み込みました。

それから4年の歳月を経て、阿字ヶ浦までの全線を使った「鉄道公演」がついに実現することになりました。

実現に際しては、ひたちなか海浜鉄道の社長・職員さんをはじめ、おらが鐵道応援団、地元自治体の大いなるご協力を仰ぎ、鉄道、地元、劇団による三位一体の奇跡が企画を今日まで推進してきました。

しかしながら、劇場となる車両はたった30名の観客で満員。正直なところ、興行の採算が合うことはない企画です。

芸術団体であると同時に一般企業のはしくれでもある僕らにとっては、難題山積の公演であることに変わりはありません。

けれども、僕の心のなかには4年前の平磯の光景と、応援団の奮闘が鮮明に残り、今でも平磯を出た後のカーブにさしかかる瞬間には、新たな一歩を踏み出す勇気を与えます。

「自分の存在をどう生かすか」「自分の仕事をどう生かすか」。地方の小さなまちを走る鉄道を通して、地元の方々と僕らのようなよそ者が手を携え、新しいムーブメントを起こしてゆく手作りの仕事は、あらゆる困難の先に、まだ見ぬ思いも寄らない風景が待っている気がしてなりません。



公演のPRに訪れたシアターキューブリックのメンバー。前列右が緑川さん

「ローカル鉄道演劇」前売り券を発売開始

11月7・8、14・15日に公演、走る列車内が劇場に

運行中の湊線車内が走る劇場に変身! 東京・墨田区の劇団「シアターキューブリック」が、11月に湊線を舞台にした演劇を香川県高松市を走る琴平電鉄とのコラボで公演します。同劇団のローカル鉄道を舞台にした作品は湊線で4作目となります。

9月の連休に公演をおこなった琴平電鉄に続く湊線の公演は「帰れない湊」のタイトル。遠い香川から故郷の湊へ来た青年が車内で出会う女性と織りなすドラマです。

公演は11月7・8・14・15日の4日間で計10回。このほか劇団員らと虎塚古墳・おさかな市場を巡るイベント列車が2回運行されます。

勝田発の下りで前編、阿字ヶ浦発の上りで後編が上演され、一公演は約3時間半、前編と後編の間には阿字ヶ浦駅周辺の街歩きがあります。

前売り券は4,500円(イベント列車2,800円)で那珂湊駅と劇団HPで販売しています。公演内容や上演時間など詳しくは同劇団のHP (<http://www.qublic.net>)をご覧ください。



「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書に参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

